



令和6年3月28日



名古屋港管理組合

NAGOYA PORT AUTHORITY

『名古屋港港湾脱炭素化推進計画』を策定しました

本組合では、名古屋港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた取組推進のため、名古屋港港湾脱炭素化推進協議会を設置し、港湾法に基づく港湾脱炭素化推進計画の策定に向けて検討を進めてまいりました。

今般、協議会での協議を経て、『名古屋港港湾脱炭素化推進計画』を策定しましたので、お知らせいたします。

本計画策定以降も、協議会を継続的に開催し、進捗状況の確認、達成状況の評価等を行い、計画の実効性を高めていくことで、名古屋港における脱炭素化の取組を推進していきます。

【名古屋港港湾脱炭素化推進計画の主な内容】

1 名古屋港の目指す方向性

「ものづくり産業の成長と地域のカーボンニュートラル実現の両立」に貢献していく。

2 CNP形成に向けた取組方針

- ・荷役機械や臨海部産業の脱炭素化、次世代エネルギーの製造や副生物の利活用、ブルーカーボン生態系等の活用による吸収源対策を図っていく。
- ・次世代エネルギー供給、二次輸送を想定した次世代エネルギーハブ拠点の形成に取り組んでいく。

3 計画の目標(CO2排出量)

2030年度:1,343万トン(2013年度比46%削減)

2050年 :実質0トン

4 港湾脱炭素化促進事業(計46事業)

- ・荷役機械及び物流車両を対象とした水素利活用の実証
- ・ガントリークレーンのインバーター方式化
- ・陸上電力供給設備の導入
- ・知多緑浜工場での水素製造 等

5 港湾の脱炭素化の促進に資する将来の構想(計29事業)

- ・CCUS事業のための施設整備
- ・海外輸入水素・アンモニア受入基地の整備 等

6 港湾・産業立地競争力の向上に向けた方策

- ・港湾オペレーションの脱炭素化への取組
- ・船舶への陸上電力供給設備の導入
- ・関係者の連携による脱炭素実証事業の推進
- ・次世代エネルギー利活用の普及啓発 等

詳細については、本組合ホームページ
(<https://www.port-of-nagoya.jp/shokai/kankyo/1003529/1003964.html>)をご覧ください。

【お問合せ先】

企画調整室(次世代エネルギー推進担当)

担当 青山^{もみやま}、榎山

TEL 052-654-7958